

トップベース



植物のライフサイクルは、それぞれ固有の遺伝子レベルのプログラムによって支配されていますが、環境要因や栽培方法、さらに与えられる植物栄養物質によって大きな影響を受けています。

最近の植物生理～植物栄養の学術的領域は、生化学の急速な進展にともなう新しい知見が集積され、目覚ましい成果を収めつつあります。

この様な状況をバックグラウンドにして、農業技術も多彩に変貌しながら、技術革新が早い速度で進行しています。

トップベースは、植物栄養についての最も新しい技術情報に基づいて構成した完全栄養型の代謝活性基剤で、従来得られなかった成果をあげています。

～トップベースの特性～

完全栄養

1. 植物の光合成、生長、分化の過程に不可欠な全ての必須元素とビタミン類、アミノ酸類、糖類、生体エネルギー物質を含有した完全な植物栄養剤です。

高い代謝活性

2. 植物の数多い代謝回路は互いに緊密に連結して作動しています。トップベースは、これらの過程に必要な成分をあますところなく供給するため、高い生理活性を常に維持することができます。

急速な吸収と取り込み

3. 施用直後より、極めて早い速度で吸収と取り込みが始まり、クロロフィル、糖、核酸、酵素など主要な生体物質が著しく増加し、高いレベルを示します。

増糖作用

4. 特に著しい特性は糖含量の増加です。糖はセルロース、デンプン、核酸、酵素、脂質などの基礎原料として極めて重要ですが、その含有量は収穫物の品質と収量に最も大きな影響を与えます。

花芽分化誘導と開花促進

5. この数年の施用試験の結果、トップベースによる花芽分化の誘導と開花促進の作用を確認することができました。また、花形も十分に大きく着果、結実も確実に進行することが判明しています。

低温・日照不足

6. 暖地型植物は、適温領域より温度が低下した場合や日照不足の環境条件に於ては、急激に代謝活性が低下します。トップベースはこの様な条件下でも優れた効果を発揮します。

短い節間

7. トップベースの施用は徒長や軟弱化を防ぎ、節間の短い、作物として好ましい植物形態をつくることができます。

耐凍性

8. 強い寒波や放射冷却などにより寒冷に曝されると、細胞内外が凍結され、組織、器官に大きい傷害を蒙ることがあります。トップベースの施用は寒冷害を低減し、春期の芽出しの遅延や阻害を防ぐことができます。

成 分

必須元素 N, P, K, S, Ca, Mg, Fe, Cu, Mn, Zn, Mo, B, Cl

ビタミン類 チアミン (B1), リボフラビン (B2), ピリドキシン (B6), ナイアシン, コリン, パントテン酸, 葉酸, アスコルビン酸

アミノ酸 アスパラギン酸, グルタミン酸, リジン, ヒスチジン, セリン, アルギニン, メチオニン, スレオニン, アラニン, グリシン, ロイシン, プロリン, フェニールアラニン, トリプトファン

糖 類 しよ糖, 果糖, ぶどう糖, 糖アルコール

使用方法

葉面散布: 500~1,000倍液使用

土壌施用: 500~1,000倍液使用

土壌施用の場合

EB-a 200倍

ニューオスマック 1,000倍

の混用が吸収を著しく促進します。



包 装

10kg入 カートン

500g×30本入 カートン

トップベース施用による葉成分の変化

供試作物
温州ミカン

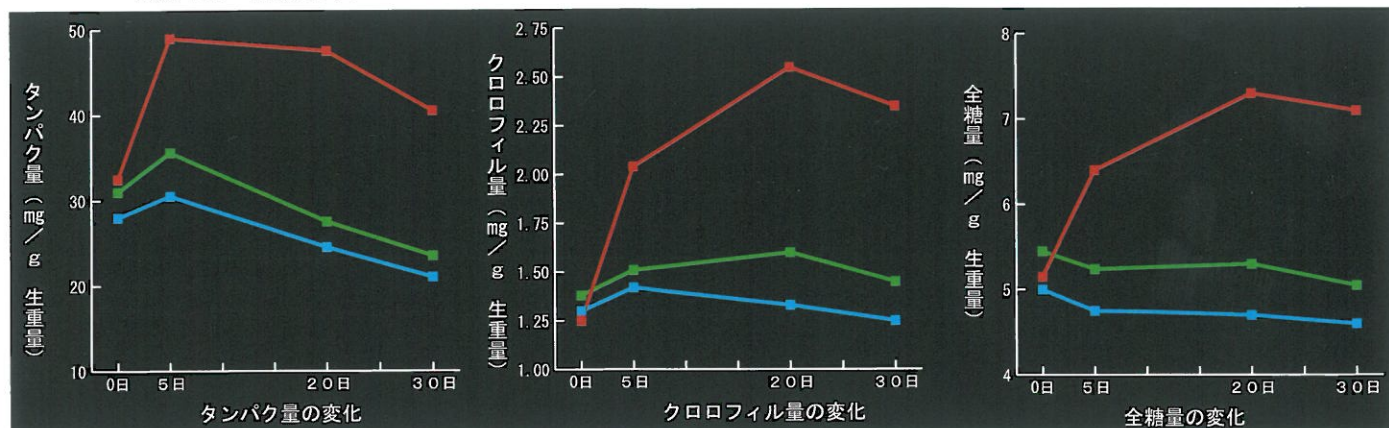
試験期間
10月1日~10月30日

試験区

- トップベース 500倍
- 有機入り液肥 500倍
- 無処理

分析法

- タンパク質 ローリー法
- クロロフィル 比色法
- 糖 質 ソモギー・シャフナー
ハートマン法



林化学工業株式会社

〒601-8357

京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町31番地

電話 075-661-3171 (代表)

FAX 075-681-8334

久世研究所

京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町26番地

電話 075-661-3171 (代表)

取扱店